

平成2年度事業報告

支部総会・研究発表会

日 時：1990年6月6日（水）10:00-15:30

場 所：北海道大学百年記念会館 大会議室

参加者：75名

研究発表論文：16編

- ① ニセコスキー場の雪崩
秋田谷英次・清水弘・成瀬廉二・福沢卓也（低温研）
- ② スキー場における過去の雪崩災害解析と雪崩対策に関する研究
天野隆明（低温研）・中村浩（北海道開発局）
- ③ 雪崩防止策アンカーの施工と耐荷力について
黒川國夫（開発土木研）
- ④ しもざらめ雪の急速発達
福沢卓也・秋田谷英次（低温研）
- ⑤ 冬の気象の教材化
高橋庸哉（青少年科学館）
- ⑥ 冬型災害による道路運行規則の実態分析
千葉敏和（開発土木研）
- ⑦ 凸凹のある屋根面の屋上積雪分布調査
苫米地司（道工大）
- ⑧ 膜材を用いた屋根の屋根雪滑落性状について
山口栄治・苫米地司（道工大）
- ⑨ 札幌における住宅地の雪問題の発生状況
高橋章弘（道寒地研）・苫米地司・大垣直明（道工大）
- ⑩ 吹雪・吹きだまりの数値シミュレーションの応用
ーモレエ山における実測との比較ー
中田琢志・植松孝彦・金田安弘・竹内敬二（気象協会）・佐藤守（札幌市）
- ⑪ 耕地防風林の地吹雪補足機能と材木の雪害について（第2報）
斎藤新一郎・成田俊司・長坂有（道林試場）
- ⑫ 積雪センサーを組み込んだ融雪パネル
佐山惣吾・西山泰典（北開試）・岩本龍明（アイケン工）
- ⑬ 融けている雪面に放置しても傾かない積雪板（序報）
小島賢治（中央区南9西17）
- ⑭ 雪面蒸発量の斜面依存について（2）
高橋修平・榎本浩之・百武欣二（北見工大）
- ⑮ 電気抵抗探査による置戸町の永久凍土と地下水の調査結果
原田鉦一郎・福田正己・石崎武志（低温研）
- ⑯ 伏状更新によるアカエゾマツの氷河期における生き残りについて
斎藤新一郎・川辺百樹（道林試場）

支部講演会

第1回

日 時：平成2年9月29日（土）14：00－16：00

場 所：フジヤサントスホテル

共 催：（社）北海道開発技術センター

参加者：60名

講演者及び題目

共通テーマ「サハリンの自然と人」（司会 原 文宏）

松田 彊（北大雨龍演習林） サハリンの森林

五十嵐八枝子（オホーツク） サハリンの植生

木下誠一（北星学園大） サハリン見たまま

第2回

日 時：平成3年4月18日（木）14：00－15：30

場 所：北海道大学低温科学研究所講堂

参加者：24名

講演題目：「北極圏の大気汚染とその気候影響」

講 師：太田幸雄（北大工学部）

地方談話会

日 時：1991年2月16日（土）13：30－16：00

場 所：北海道立オホーツク流水科学センター講堂

共 催：紋別市、北海道立オホーツク流水科学センター

参加者：100名

講演者及び題目

共通テーマ「凍る海の生き物たち（地球環境を考える）」

高橋修平（北見工大） 南極の氷と地球環境

西山恒夫（北海道東海大） たらの仲間と氷海

佐々木克明（オホーツクとっかりセンター） オホーツク・アザラシ物語

関連企画

オホーツク流水科学センター見学会

機関誌「北海道の雪氷」 第9号 刊行

平成2年8月 57ページ

後援事業

講演会

日 時：1991年5月15日（水）14：00－16：00

場 所：札幌市国際交流プラザサロン

主 催：札幌市国際交流プラザ、北海道新聞（株）

後 援：札幌市、日本雪氷学会北海道支部

共通テーマ：「シベリアの人と自然と科学」

斎藤農二（名古屋市立大）「シベリアの人と自然」ーツンドラからタイガまでー

カーメンスキー所長（ヤクーツク永久凍土研）「ペレストロイカとソ連の科学」